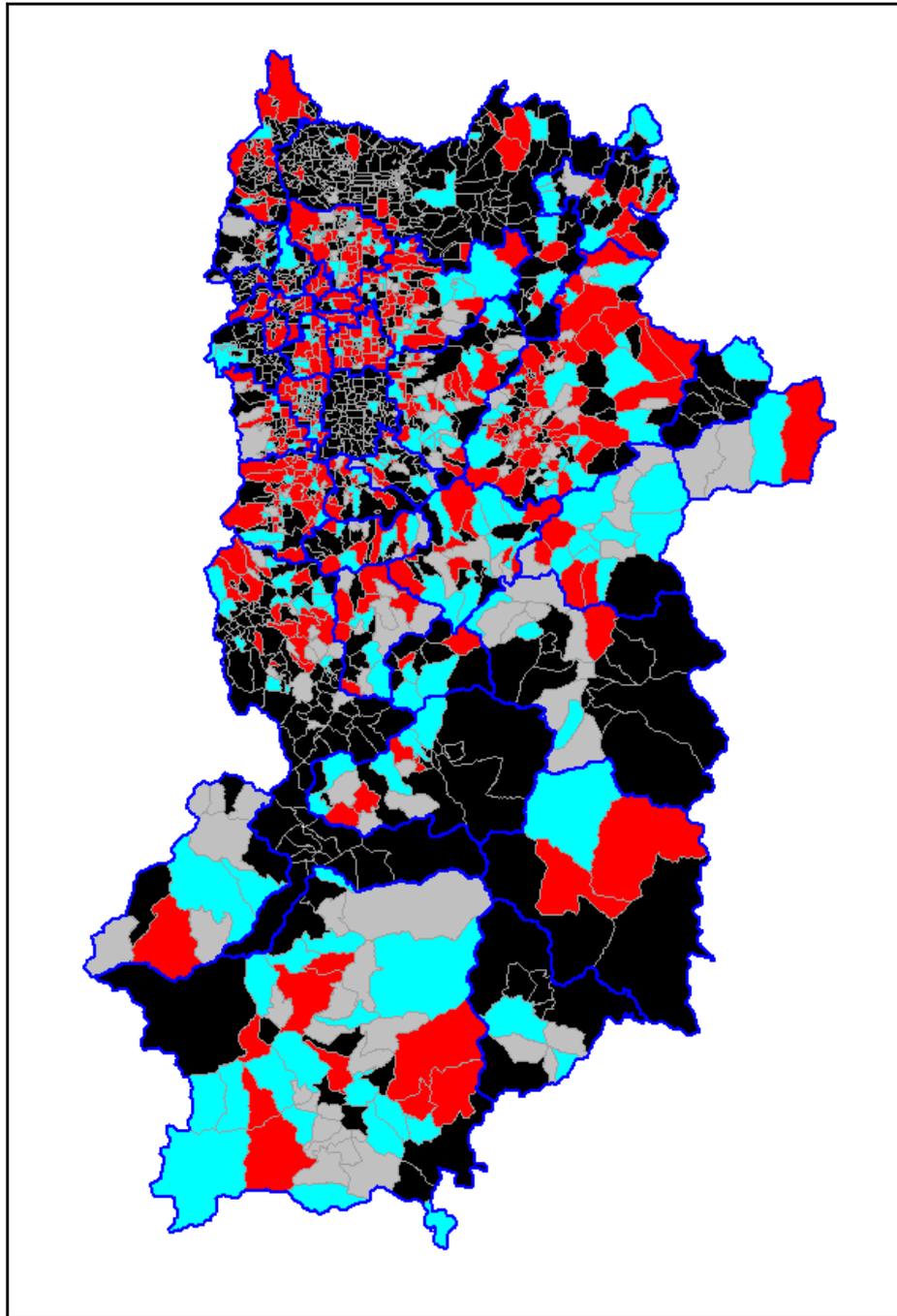


# 農業・林業集落アンケート調査によるムクドリの生息状況・被害状況 (平成26年度)

## 1. 平成26年度農業集落アンケート調査によるムクドリの分布



左図は、平成26年度の農  
林業集落アンケート調査に  
よる、ムクドリの分布である。  
農業集落でムクドリが「い  
る」と回答があった場合に  
いるとしている。回収無し  
には既に人が住んでいない  
集落も含まれている。

ムクドリは平地の平野か  
ら山地の都市部、人家近  
くの農耕地などに生息し  
ているが、本設問の回答  
も概ねそのようなムク  
ドリの生態を反映して  
おり、「いる」との回答  
は、県北中部において  
より多く見られる傾向  
にある。

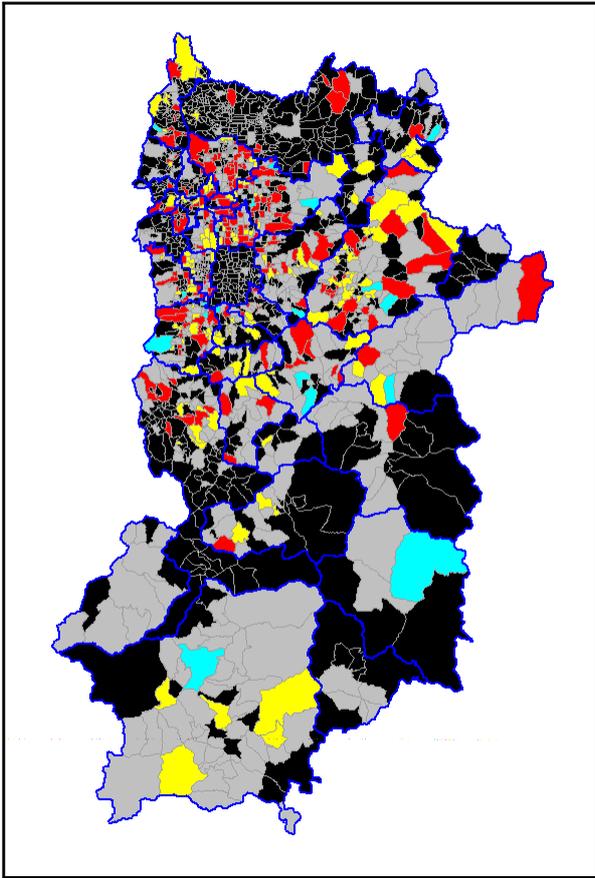
回答凡例

- ・平成26年度
- いる 376集落
- いない 210集落
- 回答無し 150集落
- 回収無し 1072集落
- 全 1808集落

- ・平成25年度
- いる 284集落
- いない 194集落
- 回答無し 186集落
- 回収無し 1144集落
- 全 1808集落

凡例 図中 青線 市町村界 市町村界内側の線 大字・地区界  
なお、この市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

## 2. ムクドリの農地への出没(平成26年度)



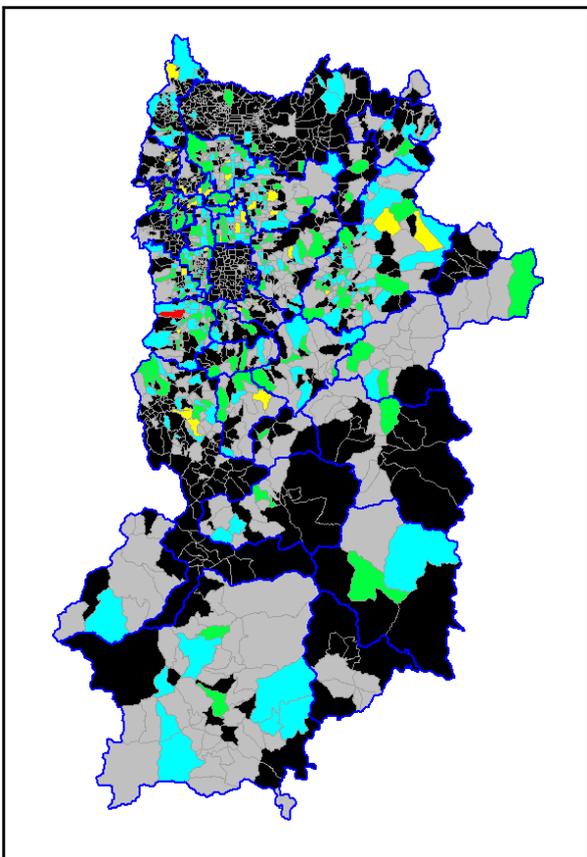
左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、ムクドリの農地周辺への出没状況である。ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった集落の内訳は下記の通りである。

ムクドリを「よく見る」という地域は、約58%であったが、平野部の多い県北中部からの回答が多くなっている。

・平成26年度	
よく見る	193集落(57.6%)
たまに見る	121集落(36.1%)
あまり見ない	21集落(6.3%)
回答数	335集落

・参考)平成25年度	
よく見る	86集落(40.8%)
たまに見る	106集落(50.2%)
あまり見ない	19集落(9.0%)
回答数	211集落

## 3. ムクドリの農業被害の大きさ(平成26年度)



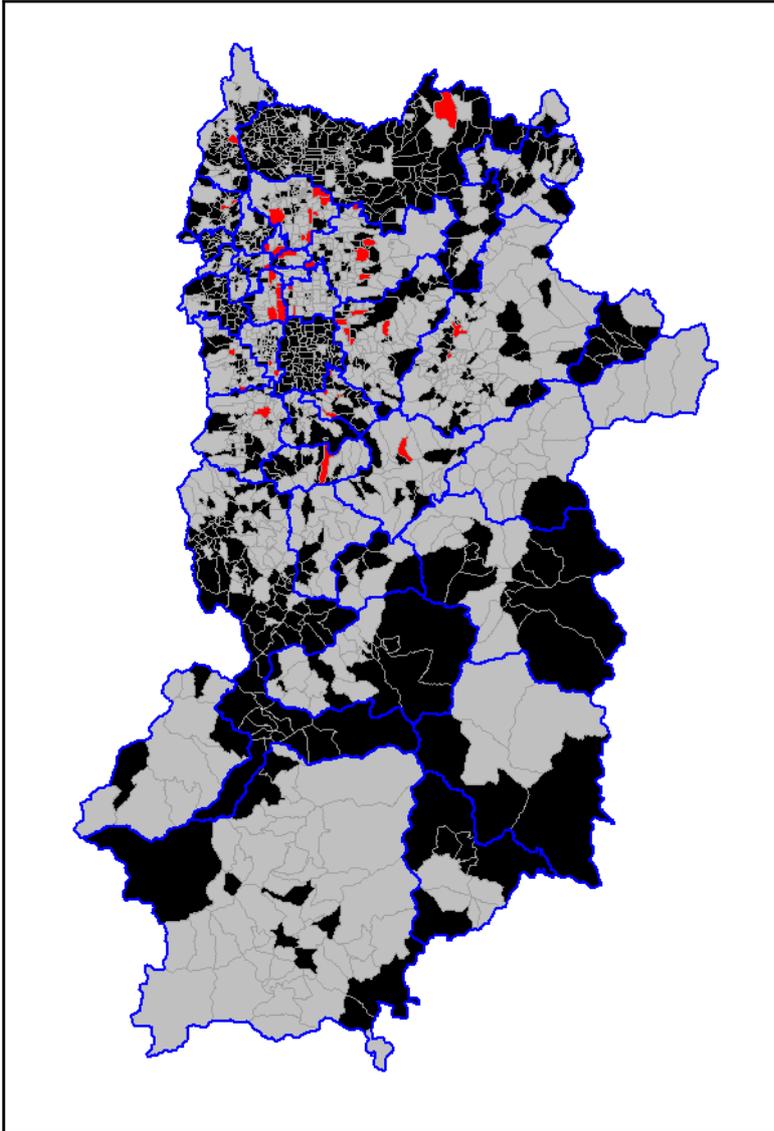
左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、ムクドリによる農業被害の大きさの意識調査の結果である。ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。

ムクドリの農業被害は「軽微」が約42%であった。「大きい」と「深刻」は併せても約8%であった。ムクドリの農業被害は発生しても「軽微」なものがほとんどで、状況によりごく一部で被害が大きくなるものと考えられる。

・平成26年度	
ほとんど無い	171集落(46.5%)
軽微	167集落(45.4%)
大きい(生産量の30%未満)	29集落(7.9%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落(0.3%)
回答数	368集落

・参考)平成25年度	
ほとんど無い	141集落(52.2%)
軽微	114集落(42.2%)
大きい(生産量の30%未満)	12集落(4.4%)
深刻(生産量の30%以上)	3集落(1.1%)
回答数	270集落

#### 4. ムクドリの衛生被害(平成26年度)



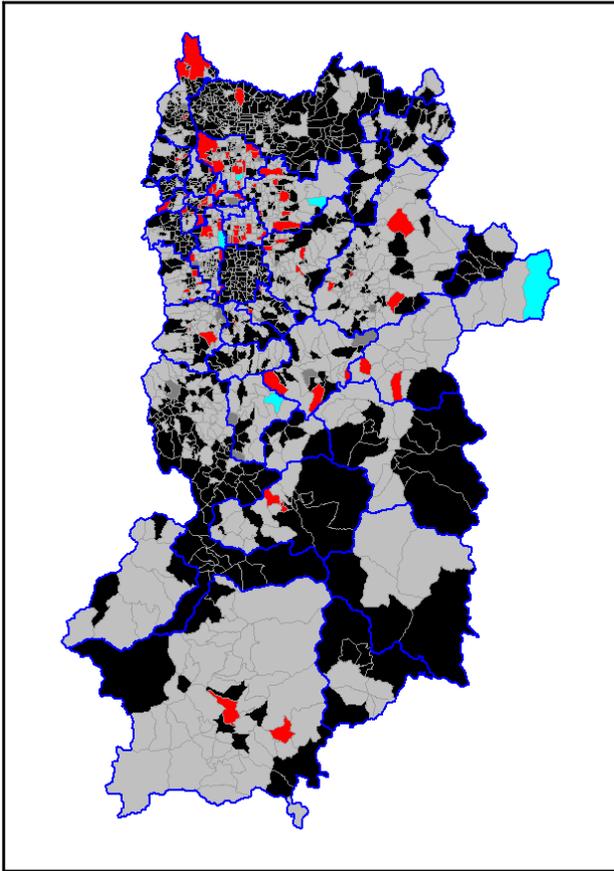
左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、ムクドリによる衛生被害の意識調査の結果である。

ムクドリが都市部の街路樹等に初夏から秋頃にかけて大群で集まり糞被害が問題になることがある。本設問は、「初夏～秋頃にかけて大群で近所に集まり、道路や家屋で糞被害が発生する」を衛生被害としている。

回答のほとんどは、前年度までと同様に、県北西部の奈良盆地を中心とする地域からであった。

- ・平成26年度  
■ 衛生被害がある 44集落
- ・平成25年度  
■ 衛生被害がある 21集落
- ・参考)平成24年度  
■ 衛生被害がある 32集落
- ・参考)平成23年度  
■ 衛生被害がある 37集落
- ・参考)平成22年度  
■ 衛生被害がある 42集落
- ・参考)平成21年度  
■ 衛生被害がある 43集落

## 5. ムクドリ被害対策 防鳥ネットの効果(農地・平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、ムクドリの農業被害対策の、防鳥ネットの設置による効果の意識調査の結果である。

ムクドリが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。

防鳥ネットは農業被害対策として、効果が非常に高いことがわかる。

・平成26年度

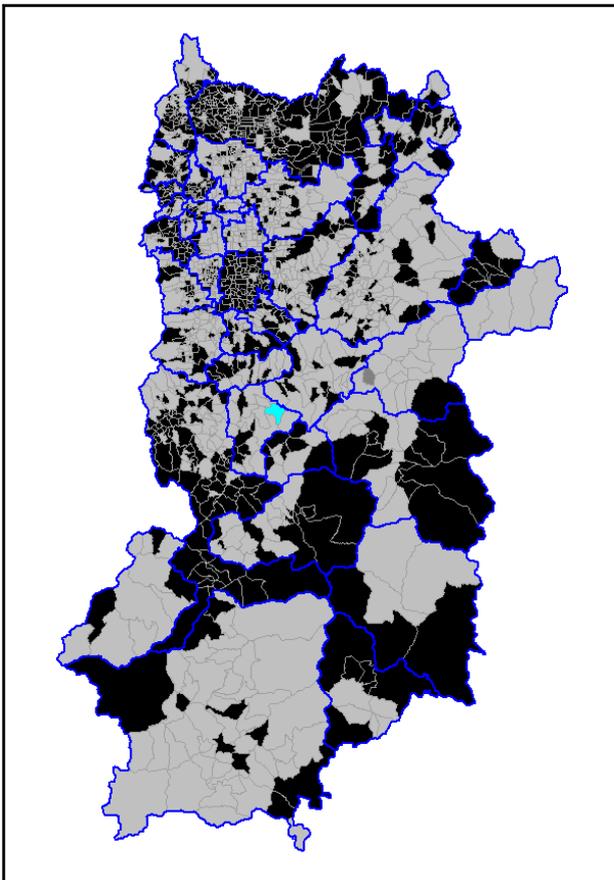
■ 効果があった	77集落
■ 効果がなかった	5集落
回答数	82集落

・参考)平成25年度

■ 効果があった	43集落
■ 効果がなかった	2集落
回答数	45集落

本年度は、防鳥網の他、テグスなどの糸を張り巡らすことや、ケツ花火などを実施する事例の回答があったが、その効果はあったり、無かったりとなっていた。

## 6. ムクドリ被害対策 有害捕獲の効果(農地・平成26年度)



左図は平成26年度の農業集落アンケートによる、農業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問の回答は1集落からのみであった。

・平成26年度

■ 効果があった	0集落
■ 効果がなかった	1集落
回答数	1集落

参考)平成25年度

■ 効果があった	0集落
■ 効果がなかった	0集落
回答数	0集落